（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライフデザイン株式会社　家族のきずな			
○保護者評価実施期間	2025年　3月　18日	～		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	28	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2025年4月10日	～	年月日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月　22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりが主体的となって過ごしやすい環境を心がけている ・長期の休みの前には、取り組む内容を一緒に考えるようにしている	・主活動を決め１日の目的を示し、スケジュールを立てる ・リサイクル活動を１年通して行っている （ペットボトル潰し、ラベル剥がし、牛乳パックを開いて切ったり、束ねるなど）	・子どもに必要な支援や療育の内容を考え 共通理解をしていくこと
2	・一人ひとりが過ごしやすく、部屋数を活かすことで落ちついて過ごすことが出来る	・子どもの障害の特性を考慮し過ごしやすい空間作り ・ヒヤリハットが起きた際には、会議で改善策を考え対策をする	・子どもの将来を見据えた機関との連携や活動方法 ・整理整頓をこれまで同様心がけ気持ちよく過ごせれるよう環境作りをしていく
3	・連絡ノートを、R6年度４月からコドモンを導入したため、利用する子どもの様子を朝から把握できるようなった。	・親睦会を行い、子どもの様子を共通理解が出来たり、違った１面が知られること。 ・保護者や職員のコミュニケーションの場作り	・保護者の方との関係機関と情報を共有していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画の備え	・緊急時対応は書面で説明したつもりだが、十分ではなかった。災害時の避難場所や連絡の仕方など詳細説明する場がもてなかった	・職員の役割分担や、共通理解をする ・地域交流や地域の保育園や学校等の横のつながりを設ける
2	・家庭や兄弟との交流会	・兄弟や地域での交流の機会が設けられなかった	・地域行事に参加をしたり、地域と連携を図ること ・行事に参加していただけるような内容や場所の計画
3	・発達や障害特性が違い５領域を用いた内容をの遊びを考えるのが難しい	・５領域と視野に入れ発達を理解しながら遊びをしていき、活動や療育に取り入れられなかった	発達や遊びを増やし体験をして子どもたちに伝えていくこと